

南信州広域連合第2回広域連合会議 結果報告

日時：令和4年5月16日(月) 14:30～16:00

場所：県飯田合同庁舎301号会議室(講堂)

【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕丹羽局長

〔飯田建設事務所〕太田所長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔下伊那郡町村会〕岡庭事務局長

〔飯田市リニア推進部〕細田部長・牧島課長

〔(株)南信州観光公社〕高橋社長・竹前部長

〔飯田広域消防〕有賀消防長・北澤次長兼総務課長

〔飯田環境センター〕飯田事務長

〔事務局〕吉川事務局長・小椋事務局次長兼総務課長・伊藤地域医療福祉連携課長

野牧広域振興係長・伊藤庶務係長・松澤庶務係主事

1 開会…14:30

2 広域連合長あいさつ

最近の状況について、まずコロナの状況であるが、全国的、また当地域においてGW明けの感染者数の急増が心配されていたが、懸念していたほど大きな数値にはならなかったと感じている。後ほど協議・報告事項の中で飯田保健福祉事務所長から詳しくお話を聞ければと思う。また、報道等で既にご承知かと思うが、高森町がウクライナ避難民の方々を受け入れたということで、前回の広域連合会議でも話をしたとおり、広域連合の構成市町村としても協力していければと思っている。現在の状況等について、高森町長から後ほどお話を伺いたい。

本日は、協議・報告事項が多く、また会議終了後には地元選出県議会議員の方々との懇談会が予定されている。円滑な進行に努めるのでご協力願いたい。

3 協議・報告事項

(1) 新型コロナウイルス感染症対策について 【飯田保健福祉事務所長】

- ・1月1日の時点(第6波)で陽性者は337人であったが、その後、感染拡大が続き、1月26日時点で1,000人、3月27日時点で2,000人、4月21日時点で3,000人を超えた。
- ・当地域における最近の日毎の感染者数は20人前後である。冒頭で連合長からも話があったが、GWで大きく人が動いたものの、全国的に感染者の急増は見られなかった。これは、オミクロン株のせいなのか、気温が上昇していることでウイルスが弱まっているのか、原因ははっきりしていない。今後研究していきたい。
- ・5月15日現在の当地域における陽性者の発生状況は、237/万人で、約2.4%の感染率。東京では、1066/万人で、約10%を超えた人が感染しているということになる。全国的には676/万人。
- ・今までは、罹らない努力(三密を避ける、マスク着用、手洗い・消毒、ワクチン接種)に努めてきたが、決して罹ることが珍しくない現在、罹ってしまったらどうするかを知っておくことも大切。以下の項目について、覚えておいていただきたい。

◇自分の行動を振り返る(どこで罹ってしまったか) ◇昨日今日の接触者を思い浮かべる(誰かに罹っていないか) ◇自分が感染したことを接触者に知らせる ◇10日間の自己隔離の準備をする(薬、体温計、パルスオキシメーター(保健所で借用)、飲み物、食べ物、連絡先一覧、書籍、日記、携帯)

◇あんしんネットワークの活用（保健所及び主治医らと連絡が取れるように、各市町村には「お助け隊（買い物援助）が準備されている」）

（主な意見等）

副連合長：本日は教育関係の方がいないので、お答えが難しいかもしれないが、なにか情報があれば教えていただきたい。現在、長野県では、クラスに1人陽性者が出ると5日間の学級閉鎖になる。しかしながら全国的には複数人発生した場合であり、なぜこんなにも差があるのか。

飯田保健福祉事務所長：今後は教育委員会等でも、状況を踏まえながら基準等の見直しがされていくと思っている。

(2) 株式会社南信州観光公社の運営状況について ～資料No. 1～

【高橋社長】

*南信州観光公社の運営状況について、昨年、一昨年は5、6月の教育旅行団体が0校であったが、今年度は50校以上を予定している。感染症対策をしっかりと講じた上で実施をしていきたい。また、2月の広域連合会議の際に、令和3年度のリニアプロジェクトを中心とした広域観光振興事業について報告させていただいたが、改めて令和3年度の事業実績及び令和4年度等の動きについて、地域振興事業部長から説明させていただく。

【竹前地域振興事業部長】

*資料を基に、令和3年度の主な事業実績、令和4年度の事業計画等について報告。

ア 先進地視察

・新幹線開通による広域振興に関する視察として実施（北陸新幹線上越妙高駅、九州新幹線薩摩川内駅・出水駅、東北新幹線いわて沼宮内駅・八戸駅）。広域振興における今後の取組として参考にしたいと思っている。

イ リニアプロジェクト・市町村観光コンテンツ開発・ツアー化事業

・ふるさと再発見ツアー（南信州地域住民限定ツアー）の催行ということで、令和3年度の実施状況は、ツアー企画数は33本、催行は23本であった。基本的には、令和2年度に引続き、地域住民の方々を対象としたツアーとしているが、令和4年度においては状況を踏まえながら枠組みを拡げていきたいと思っている。

ウ リニアプロジェクト・インバンド誘致（海外誘客事業）

・観光庁補助を利用し、具体的に市町村観光資源を使ったツアーコースの開発とトライアル販売を実施。対象は在留外国人の方々。

エ リニアプロジェクト・既存観光拠点施設の再生

・観光庁補助を利用し、天龍峡のナイトミュージアム（1月14日～2月13日）を企画したが、結果的には期間を絞り（2月1日～13日）、対象も地元住民とした縮小開催となった。しかしながら昼神温泉、下條温泉、市内の宿泊施設からのシャトルバスの運行等、信南交通と連携した初めての試みを企画段階において検討することができ、今後に活かしていきたいと思っている。

オ 南信州・上伊那・木曾連携事業（リニアバレー構想に基づく）

・3地域の周遊商品の造成事業やモデルコースの造成事業を実施。令和3年度は各担当者を中心に実体的にDMO、観光協会と連携し、それぞれ意見交換やコミュニケーションを図ることができた。長野県の観光機構からも支援をいただいております、県内の他地域における広域的な連携の例はあまりないということで、評価をいただいている。

カ 令和4年度リニアプロジェクト関連事業計画

・市町村観光コンテンツ開発・ツアー化事業について、引続きツアー企画数は50本以上を予定。市町村観光担当者との対話と協力に基づき集客を図り、通年実施していく予定。
・昼神温泉出湯50周年記念事業等への協力について、昭和48年に出湯の昼神温泉の50周年事業が今後計画される予定であり、地域の重要な宿泊基盤として、阿智☆昼神観光局に公社のコンテンツ等を積極的に提供し協力していく。

- ・地産地消の取組・まちの八百屋システム構築事業について、元気づくり支援金の決定がされているので、この支援金を活用し、充実した取組をしていきたい。
 - ・体験型観光振興事業について、特に教育旅行においてSDGsプログラムの中で、単に修学旅行が思い出づくりというのではなく、その地域へ旅行して地域の課題まで勉強、体験していただくような形態になっており、今後さらに充実した内容にしていきたいと思っている。
 - ・山岳文化伝統の取組について、今後、環境省の補助及び元気づくり支援金を申請する予定であり、赤石山脈のエコ登山を進めていきたいと思っている。
 - ・Airbnb Japan パートナースhip連携協定について、Airbnb Japan は日本最大の民泊のサイトであるが、関係人口創出と持続可能で魅力溢れるまちづくりを目的とし、農家ステイを新しい農家経営の柱にさせていただく形でのAirbnb Japan との連携を図ることができないかということで、南信州全域を対象とした説明会の開催を考えている。
 - ・観光施設再生について、やはり各市町村の基幹となる観光施設が勝ち組になるということが、観光振興の重要な点であるため、引き続き要請をいただいた観光施設について、コンサルティングを実施していきたい。また、観光公社の中に、観光組施設再生組織のようなものを設立できないか検討を進めている。
 - ・南信州地域の観光案内所のネットワーク化について、SNS ツールを活用したネットワークの構築について検討を進めている。
 - ・リニア時代を展望した長野伊那谷観光局との情報交換について、具体的に情報交換を進め、来るべきリニア時代における広域観光の進展をどうしていくかということを検討していきたい。
- 質疑等なし

(3) リニア駅周辺整備に係る検討の報告について ～資料No. 2～

【飯田市リニア推進部長】

- ・リニアの駅周辺整備に関しては、令和元年度に基本設計を策定して以降、自主設計に取り組んできたところである。この間、設計業務ということもあり、なかなか情報が出てこなかったわけであるが、この度、自主設計をまとめたものを郡市民の皆さまに情報共有をさせていただき、意見を頂戴していきたいと思っている。情報共有については、コロナ対策を講じる中でなるべく多くの皆様に周知をしたいということもあり、オンラインでの配信をしたいと考えている。具体的には、You Tube で動画配信を行う予定。より良い地域振興に活かすことのできる形の駅となるように努めていくので、各関係機関の皆さまにもご理解、ご協力をお願いしたい。

【飯田市リニア整備課長】

- ・令和2、3年と土木の自主設計と並行して、デザインノートの示されている駅前空間の目指すべき姿結いの広場を具体的な形にするための検討を行ってきた。
- ・現在の検討状況報告について、内容にかなりボリュームがあるため2回に渡り報告会を開催していく予定。1回目については、5月28日(土)にオンライン配信で行う予定。この報告会については、事前の申出は不要であり、配布するチラシに記載されているリンク先から自由に視聴が可能。また、ライブで見られない方については、飯田市のYou Tube チャンネルからいつでも視聴できるような形にしたいと思っている。インターネットの利用ができない方については、ご希望により出前講座や報告資料を渡す等の措置を考えている。2回目の報告会は7月中旬を予定。2回の報告会を通じていただいた意見を踏まえ、意見交換の場を8月頃に計画する予定。是非、多くの方にご視聴いただき、様々な意見をいただけたらと思う。

→ 質疑等なし

(4) 根羽村における「交通空白地・福祉有償運送」について 【根羽村長】 ～資料No. 3～

- ・根羽村において、令和4年4月から交通空白地・福祉有償運送を開始。
- ・自家用有償旅客運送とは、道路運送法の許可を受けたバス、タクシー事業者による運送サービスが困難で、地域で輸送手段の確保が必要な場合、地域の関係者の協議を経た上で市町村やNPO法人等が自家用車を用いて提供する輸送サービスのこと。大きく2種類あり、バス、タクシー等の公共交通機関を利用できない障がい者等を対象とした福祉有償運送と、バス、タクシー等の利用が困難な地域の一般住民を対象とした交通空白地有償運送とがある。
- ・根羽村では、平成18年に福祉有償運送を開始してきたが、さらに年数が経過し高齢化が進んできたことで、バス停まで出ることが困難になったりだとか免許の返納だとか様々な交通事情が変わったため、今回新しく交通空白地有償運送の申請をして許可を得た。
- ・根羽村の場合は、既存のコミュニティーバス等もあるが、時間帯、また路線によって利用ができない形から、村内全域を交通空白地と位置付け、審議会を開き許可を得た。
- ・自家用有償運送を開始するには、地域における関係者の合意（市町村が主体の場合は地域公共交通会議、NPO法人等が主体の場合は運営協議会）が必要。また、管轄の運輸局への申請・登録が必要。
- ・根羽村社協交通空白地有償運送規約（利用対象者や運行日、運行料金など）を定め、運用を開始している。

（主な意見等）

大鹿村：大鹿村でもこういった取組はやっているが、運転者を確保するのがなかなか難しいという課題がある。運行料金についてだが、村が何割だとか負担しているのか。

根羽村：実際に今まで、福祉有償運送を利用してもらっていたが、利用実績を見ると令和2年で140万円程であり、うち利用者負担は24万円です。それ以外は村から補助金というような形で支出している。経費の内訳は人件費が100万円程、その他は車両の整備費用等。利用者負担については、村外利用については1km40円×往復距離、あとは時間（2時間以内なら300円、4時間以内だと500円の加算等）で料金をいただいている。許可を取る際に一番難しいのは、交通事業者の理解を得ること。特にタクシー事業者がある場合には、しっかりと協議をする必要がある。

連合長：交通事業者との関係だが、まず村内全域を交通空白地とするという決め方は、事業者との調整みたいなものはないのか。

根羽村：根羽村には、根羽観光バスという事業者があるが、そこは、自社バスを1台持っていて、あとは委託で村の運行を受けているため、特に自社の営業をしていないところだったので問題はなかった。許可を取る際に、タクシー協会の役員の方々から多くの質問を受けたが、根羽村の場合は交通空白地ということで、全ての方にご理解をいただくことができた。

連合長：逆にタクシー事業者が村内にいない中で協議をする相手は、飯伊地区のタクシー業界ということでしょうか。

根羽村：そのとおりです。

連合長：飯田市の場合は全くの交通空白地という所がどの程度あるかということもあるが、段々こういった仕組みが形を変えてでもないと賄っていけなくなる気はする。

(5) 令和4年南信州広域連合議会第1回臨時会について 【事務局次長】 ～資料No. 4～

ア 概要

- ・開催日：令和4年5月27日（金）
- ・付議事件2件（人事案件1件、予算案件1件）

イ 付議する案件の内容

- ・監査委員の選任について

・令和4年度南信州広域連合一般会計補正予算（第1号）案 補正額 800 千円
→ 質疑等なし

(6) 看護師等確保対策修学資金について 【地域医療福祉連携課長】 ～資料No. 5～

ア 令和4年度応募者数

- ・新規 11 名、在学 2 名の計 13 名。

イ 選考審査会

- ・日時・場所

令和4年5月31日（火） 19時～ 南信州広域連合事務センター

- ・選考委員

10名（医療福祉専門部会員、副管理者、医師会、包括医療協議会、看護協会、事務局）

ウ 選考審査の評価項目

- ・本人の意欲・地域への思い等（テーマに基づく作文）
- ・経済的事情（生計同一者全員総所得金額）
- ・学力（前年度在学校の偏差値、成績証明書による個人評定値）
- ・主たる生計者の居住地が圏域内
- ・他の修学資金制度の併用

エ 審査会後の日程

- ・6月中旬 貸与決定通知書送付
- ・6月下旬 誓約書、連帯保証人の印鑑証明、口座振込先通知書の提出
- ・7月末 第1回修学資金振込

→ 質疑等なし

(7) 稲葉クリーンセンターの運営状況について 【飯田環境センター事務長】 ～資料No. 6～

*資料に基づき、稲葉クリーンセンターごみ搬入量と売電相当収益について説明実施。

- ・委託収集における令和3年度のごみ搬入量は 19,611.79t（前年比 ▲ 309.72t）
- ・直接搬入量における令和3年度のごみ搬入量は 9,284.76t（前年比 ▲ 80.44t）
- ・令和3年度の売電相当収益は、100,562,813円（前年比 ▲ 10,171,298円）
- ・今後もごみ減量化キャンペーン等のごみ減量化の啓発、施設の効率的運営及び長寿命化に寄与する取組に努めていきたい。

→ 質疑等なし

(8) 長野県南部国道連絡会総会について 【事務局次長】 ～資料No. 7～

ア 日時・場所

日時：令和4年7月26日（火）

理事会	13時30分から13時50分
総会	14時00分から14時45分
説明会	15時00分から16時15分

場所：飯田県文化センター

イ 議事

【理事会】

- ・総会の次第と役割等について
- ・総会の議案等について
- ・決議文について

【総会】

- ・第1号議案 令和3年度事業報告について
- ・第2号議案 令和3年度収入支出決算について
- ・第3号議案 令和4年度事業計画(案)について
- ・第4号議案 令和4年度収入支出予算(案)について
- ・第5号議案 役員改選(案)について
- ・第6号議案 決議(案)について

ウ 国道整備状況説明会意見発表者について

令和4年度の各路線における発表者について、以下のとおり依頼をしたい。本日の広域連合会議の場でご承認いただければ、後日、別途依頼をさせていただきます。

◇19号 木曾圏域 ◇151号 阿南町長 ◇152号 大鹿村長 ◇153号 上伊那圏域、根羽村長
◇256号 木曾圏域 ◇361号 上伊那圏域 ◇418号 天龍村長 ◇474号 飯田市長
→異議なし。承認となる。

(9) ご当地ナンバープレートへの対応について 【事務局長】 ～資料No. 8～

ア 制度の概要等

- ・ご当地ナンバープレートの登録制度については、平成17年5月に第1弾の募集があり、以後、数回に渡り導入要件が見直されながら現在に至る。
- ・今回、第4弾にあたる募集については、令和4年の11月に意向表明が必要となる。
- ・第4弾の導入要件については、①地域名表示の追加変更等を申し込む場合は、併せて図柄入りナンバープレートの導入が必須。②単独市町村の場合は、登録車10万台以上又は登録車+軽自動車17万台以上。③複数市町村の場合は、登録車5万台以上又は登録車+軽自動車概ね8.5万台以上が要件。
- ・台数の要件について、現在のところ飯田市単独では要件を満たすことができないが、飯田下伊那全体で対応を行うことができれば、要件を満たすことが可能。

イ 主な導入基準

- ・複数の市町村を含む地域の場合、登録自動車数概ね5万台以上、又は登録自動車と軽自動車の合計が概ね8.5万台以上
- ・新たな地域名表示の追加に当たっては、これを単位とする地方版図柄入りナンバープレートをあわせて導入すること。
- ・新ナンバープレートを活用した地域振興・観光振興のための方針を有していること。
- ・地域住民の合意形成が図られていること。合意形成に際して導入趣旨や対象自動車について十分に説明を行うこと。
- ・地域住民の合意状況は、地域的その他の属性に大きな偏りがないなどの適切な方法により、アンケート、ヒアリング等を実施して確認すること。
- ・対象地域が、県内における他の地域名表示の地域と比較し、人口、登録台数等に関して極端なアンバランスを生じないこと。
- ・地域名表示は、行政区域や旧国名等の地理的名称であり、当該地域を表すものとしてふさわしい名称であること。
- ・地域名表示は、読みやすく覚えやすいものであるとともに、既存の地域名表示と類似し、混同を起こすものでないこと。
- ・地域名表示は、十分視認性確保されるよう、原則として「漢字」とし、文字数は「2文字」までであること。やむを得ない場合であっても、「漢字」又は「平仮名」とし、最大で「4文字」までであること。

ウ 申請を行う場合のスケジュールと主な必要項目

- ・R4. 11. 30 まで 意向表明書提出（地域名表示の名称、構成市町村、意向表明理由、調整状況）
- ・R5. 3. 31 まで 申込書提出（地域名表示の名称、構成市町村、申込理由、名称の選定理由、一定のまとまりのある地域である理由、同意した市町村、市町村の同意に至るまでの経緯及び地域住民等の移行状況、県内の人口、登録台数等に関するバランス状況）【構成市町村の合意を得た上で提出する】
- ・R5. 12. 28 まで 図柄の提案（図柄のコンセプト、選定方法、図柄、寄付金の活用、等）
- ・R7. 5 月頃 新ナンバープレート交付開始

（主な意見等）

松川町：第1弾から第3弾の募集の時の経過をよく知らないが、上伊那とも少し話をした方が良いのではと感じる。名前の付け方で軋轢が生じたり、一緒にやろうといったようなことを後から言われても困ると思う。実施することについては良いことだと思っている。

連合長：今、松川町からも前向きな意見があったが、導入に向けて研究していくということについては異論はございませんか。

→異議なし

連合長：では、今後どういったステージで研究していくかということですが、なにかご意見はありますか。

阿智村：広域連合の事業計画の中に、統一看板、統一デザインという事業があるので、その中に組み込んで研究をしていったらどうか。

連合長：では、総務産業委員会と事務方でスケジュール等、研究をしていただき、実際にどうするかを決定していきたいと思います。

(10) ウクライナ避難民の受け入れについて 【高森町長】 ～資料No. 9～

ア 来日の状況

- ・4月30日に成田空港へ到着（4家族9名）。
- ・同日の19時過ぎに高森町に向けて空港をバスで出発。5月1日の0時20分頃高森町の町立温泉宿泊施設「湯が洞」に到着し、投宿。

イ 現在の状況

- ・生活の自立支援に向けて、住居や家電製品の提供を行っている。

ウ 今後の課題

- ・9名の方々は禅道会の小沢代表が身元引受人となって受け入れた方々であり、国が毎週20席ずつ用意して入ってきている、いわゆる身元引受人がいない方々とは別の扱いとなっているため、一般的には公的支援を受けることができない。なので、日本財団が今後支援を行っていくようになるが、その支援は申請後、現金給付までに1～2か月の時間を要するため、その間のつなぎ及び数か月先以降の自立的な生活を確立するために、更なる募金や寄付による資金の確保が必要。
→近隣市町村を含む南信州圏域内での情報発信をお願いしたい。
- ・5月14日から町営住宅での世帯別生活が始まるに伴い、本人のニーズに応じて生活物資の寄付・寄贈等の募集を検討中。
- ・高森町を含む周辺の経済圏域（商業施設・医療機関・公共交通機関等）において、ウクライナ語の表記をはじめとする、多文化共生・コミュニケーション基盤の形成。現在のところ、通訳なしでは行動ができないような状況。
- ・避難民の皆さんは、早期に自立生活を確立して、母国の家族等に送る支援資金を集めたい意向。例えば、避難民の方々によるチャリティイベント等の機会を検討中。

（主な意見等）

連合長：今後の課題として、ウクライナ語の表記の話があったが、これについてどのように対応していくべきか。

高森町：せめて英語の表記としていただければと思う。9人のうち、しっかりと英語が喋れるのは1人のみ。

連合長：ボイストラにもまだ入っていないか。

高森町：ポケトークはファームウェアをアップしてもらおうと、ウクライナ語が対応されるようになるので、定期的にアップしていただくのが良い。また、スマホのGoogle翻訳もどんどん良くなってきている。日々、更新されている状態。

また、話は変わるが、どこかの道の駅等でチャリティー募金をやるようなイベントを組んでいただいたとして9名の方々ができることは、ボルシチを提供するということと、歌を歌うこと、また空手の演武ができるということ。ただし、ボルシチについては露店営業の許可を持っていないので販売ができない。なので、本人達が売ることができないため、もしなにかイベントを組んでいただけるならば、募金箱を設置してもらい、募金いただいたものを一旦禅道会か町へ預けてもらい、配分するという形ができるとありがたい。

(11) 三六災害60年シンポジウムについて 【事務局長】 ～資料No.10～

令和4年6月12日に飯田文化会館で開催。基調講演とパネルディスカッションを予定しており、各市町村長については実行委員としての出席をお願いしているところ。ご協力お願いします。

→ 質疑等なし

(12) 飯田広域消防本部から 【消防次長兼総務課長】 ～資料No.11～

* 5月11日現在 火災発生状況について

・火災発生件数について

→ 38件 (前年同日比 ±0件)

・たき火火災発生件数

→ 22件 (前年同日比 +5件)

→ 質疑等なし

(13) 後援依頼について 【事務局庶務係長】 ～資料No.12～

* 第15回武田信玄狼煙会狼煙上げ及び歴史講演会

期 日： 【煙上げ】

令和4年8月27日

令和4年秋頃（1日間）

令和4年11月26日

【歴史講演会】

令和4年 8月21日

令和4年11月26日

会 場： 各市町村狼煙場及びその付近

松川中央公民館（8月21日）

諏訪市文化センター（11月26日）※予定

主 催： 武田信玄狼煙会

開催目的： 武田信玄の狼煙から信州並びに近隣県の歴史を学び、共有の財産として地域の連携と絆を大切にして取り組み、公民館をはじめ各種団体の活動の充実・発展、地域の活性化を図ることを目的とする。

* 第42回日本山岳修験学会飯田学術大会

期 日： 令和4年10月22日～24日

会 場： 飯田市鼎文化センター

主 催： 日本山岳修験学会・飯田学術大会実行委員会

開催目的： 天竜川水系における山岳信仰と修験道をテーマに日本山岳修験学会を開催し、南信州をはじめ全国の山岳信仰や修験道の文化を考えるもの。

→ 異議なし。承認となる。

(14) その他

*飯伊建築業協会からの車いすの寄贈について 【地域医療福祉連携課長】 ～資料No. 13～

毎年、4月の終わりに、一般社団法人飯伊建築業協会から南信州広域連合に対して車いすの寄贈をいただいている。本年度も2台の車いすの寄贈をいただいた。同協会から南信州広域連合に対する車いすの寄贈は本年度で21回目であり、寄贈を受けた車いすは、のべ48台となった。いただいた車いすについては、圏域内の広域連合が入所調整を行っている特別養護老人ホーム14施設へ順番に贈っており、本年は特別養護老人ホームやすおか荘及び特別養護老人ホームあさぎりの郷に各1台ずつをお受けいただいた。入所者の方々の利用に活用させていただく。

4 長野県から

【地域振興局長】

*令和4年度元気づくり支援金について

令和4年度元気づくり支援金の一次募集を行った結果、33事業が内定した。予算配分9,701万円に対し、4,639万6千円の残額が生じたため、二次募集を実施している。募集期間は令和4年5月9日～6月14日まで。関係機関への周知をお願いします。

5 当面の日程について

5月27日（金） 議会第1回臨時会、全員協議会

6月15日（水） 広域連合会議

6 その他

特になし

7 閉会…16:00